

訪 問 介 護 - アンケート -

* 訪問介護員の接し方*

利用者のちょっとした意思表示や反応を見逃さないようにしている。
 利用者が遠慮やこだわりなく希望を言える雰囲気を作るようにしている。
 利用者の表現の仕方、声の大きさなどを気にかけている。
 利用者の気持ちを聞くようにしている。
 利用者の希望を聞き出すようにしている。
 利用者信頼関係をつくるようにしている。
 利用者が自分らしく自主的、主体的に生活できるように援助している。
 利用者の生活習慣を尊重した援助を行っている。
 利用者の残存機能を活用し、利用者のできないところを援助していくようにしている。

* 介護の質*

利用者的人格を尊重したマナー、心得、挨拶、気配り、心配り、言葉づかいを徹底している。
 常に「危機意識」を持って業務に当たっている。
 訪問時間については、厳守している。
 どうしても遅刻するときは、事業所の責任者に連絡をとり、利用者にも連絡し、同意を得て訪問することとしている。
 体調の変化等、利用者の心身の状態に配慮すべきことが生じた場合には、担当のケアマネジャーを通じて主治医や訪問看護婦などの他職種へ相談するなどしてつなげている。
 ケアプランの変更が必要となった場合には、速やかに、担当のケアマネジャーに相談することとしている。
 利用者最優先の体制で業務に当たっている。
 サービスの前後には確認・再確認を行い、うっかりミスを防いでいる。
 誠意を持った、態度、言葉遣いを心掛けている。
 記録は正確に丁寧に記載し、上司のチェックを受けている。
 自己の健康管理と職場のチームワークを図っている。
 自己の介護技術と確認の向上に向けて、常日頃から努力している。
 約束やマナーを必ず守っている。
 地味過ぎず派手過ぎない服装と化粧を心掛けている。
 爪はききちんと手入れし、装飾品などはサービス提供にきしょうをきたすのでつけていかない。

ご利用者	印鑑	コメント
	印	
サービス提供責任者	印鑑	コメント
	印	

自己評価年月日		
H18年	7月	1日